

中山間地域ふるさと事業 について

埼玉県農林部
農業ビジネス支援課

中山間地域ふるさと事業の構成

1. 調査研究事業

令和4年度予算額: 10,582千円

- ・企業等の支援により地域資源調査や住民活動の活性化を図るためのワークショップ等を実施
- ・大学生等の外部の力を活用して集落の活性化を図る取組を実施
- ・集落営農を確立するための新たな生産技術や鳥獣害対策の調査研究

2. 研修事業

令和4年度予算額: 300千円

- ・地域活性化に必要なリーダーとなる人材を育成するための研修会の実施

3. 啓発推進事業

令和4年度予算額: 1,434千円

- ・中山間地域の持つ多面的機能に関する理解増進を図るための普及・啓発活動の実施

1. 調査研究事業（コンサルタント等企業による支援）

（令和4年度予算額：4,000千円）

コンサルタント等企業の支援により、地域資源の調査・分析や、地域の農産物を使った商品開発の提案など、地域住民活動を通じた産地の活性化に資する取組を強化し、農林業・農山村の多面的機能の良好な発揮を促進する。

美里町（R3～R4） 株式会社なとね（旧：株式会社小田屋）



- ・ 令和3年度は、美里町旧大沢村地区の地域資源及び農産物（えごま、みかん、ブルーベリーなど）を活用した地域活性化についてのワークショップを実施し、えごま油の商品開発と販売戦略、みかんの付加価値を向上させる栽培方法の確立などについての検討が行われた。
- ・ 令和4年度は、えごま油の商品開発に向け、搾油所や搾油方法についての視察研修を実施した。また、産地関係者によるみかんの会の設立、商品としての認知度向上を図るための情報発信や、都内での販売に取り組んだ。

ときがわ町（R4～） 株式会社なとね



- ・ 地域住民と都内の山椒ファンによるときがわ町の山椒収穫体験や、山椒を活用した地域活性化についてのワークショップを実施し、山椒の販路や、認知度向上に向けたPR方法等についての検討が行われた。
- ・ ワorkshopを実施した結果、山椒の栽培と販売を支援するパートナー店の開拓、都内レストランにおける山椒のメニュー開発・試食会の開催、海外輸出に向けた検討に取り組むこととなった。

1. 調査研究事業（中山間「ふるさと支援隊」による支援）

（令和4年度予算額：5,300千円）

大学生等の持つ新しい視点や行動力、専門技術・知識など「外からの力」を活用することによって、集落の活性化を図る。平成22年度から延べ51支援隊が活動している。

令和4年度中山間「ふるさと支援隊」活動一覧

	大学名	市町村	対象集落	活動テーマ
1	立教大学	横瀬町	全域	官学連携による共創拠点の形成
2	駿河台大学	飯能市	原市場	飯能の里山資源を活用したアウトドア・スポーツ・ツーリズムへの挑戦
3	十文字学園女子大学	横瀬町	全域	越境的な交流促進による地域の憩いの拠点づくり
4	十文字学園女子大学	皆野町	日野沢・金沢	人びとによって生きられた歴史の発掘と継承 —子育てや教育に関する習俗の再発見と再創造を中心に—
5	十文字学園女子大学	ときがわ町	大附	若者Z世代が好む柑橘製品の開発
6	大正大学	秩父市	全域	秩父市と豊島区の人的交流を促す地域情報マップの作製 —地域と都市の共生と日本版CCRCの実現を目指して—
7	早稲田大学	本庄市	若泉	地域の街づくりをNPO法人と共に考える
8	東洋大学	小鹿野町	全域	小鹿野町における地域資源を活かした観光ルートの企画
9	日本大学	鳩山町	須江・大橋・泉井	地元農産品・観光資源による地域内活性化と都市部との人的交流推進
10	立教大学	小川町	青山	産官学連携によるSDGsを活用した地域活性化活動—バックキャスト型の手法を通じた当事者意識の醸成—
11	早稲田大学	皆野町	三沢・金崎	多世代・多文化交流を基盤とした地域活性化

ふるさと支援隊の活動の様子（横瀬町における現地活動から）

○横瀬町里山まるマルシェ



立教大学舂谷ゼミの活動の様子▶

◀十文字学園女子大学羽田ゼミの活動の様子



横瀬町産サツマイモ、米等を使った弁当販売(十文字学園女子大学)▶



◀横瀬町産サツマイモ、カボチャを使ったマフィン販売(立教大学)

ふるさと支援隊の活動の様子（活動報告会から）

4 活動報告

7月17日の活動 金沢地区

参加者：宇多、沼野実佑、三ツ谷遥

- 四方田忠則宅へ訪問・挨拶
- 新井義虎宅へ訪問・挨拶
- 浦山 アジサイ園視察

四方田忠則宅にて(四方田忠則さん(1番左)と一緒に)



四方田さんの家の蔵にあった、剣道場の入門者の血判書の巻物

試食させていただいた、昨年度、四方田さんが作られた干し芋

浦山 アジサイ園のアジサイ



左：浦山 アジサイ園にて(新井義虎さん(右から3番目)、新井文子さん(右から2番目)と一緒に)



事務局2 事務局1 S 淵上耀平 日本...

事務局2 伊藤和哉 早稲田大... 事務局1 木村早希 立教大学 淵上耀平 日本大...

レコーディングしています...

シイタケ原木の駒打ち作業

- 2022年4月6日 (皆野町 三沢)
- 昨年度伐採した原木にシイタケの種駒打ち
- 地域住民・留学生との協働による地域資源の利活用、森林の環境保全

参加者の集合写真

以前駒打ちした原木からシイタケ収穫

事務局2 事務局1 徳楽龍也 大正... 19KB078 細野...

事務局2 事務局1 狩野 浩二 (十文... 徳楽龍也 大正大学 19KB078 細野真彩

今後の課題

- ◆ 調査の方向性に関する課題
 - 観光面の調査は進行中 → 生活面の情報を集める (情報の偏りの解消)
- ◆ 生活面を補完するための具体的な調査 (予定)
 - ▶ ヒアリング調査
 - 秩父市 市長室 総合政策課様
 - 秩父地域包括支援センター様
 - ▶ フィールドワーク調査・施設見学
 - 秩父鉄道沿線 (荒川地区)
 - 働空間様

事務局2

伊佐山 豪琉 日本大学

事務局2

宇多 菜々美 十文字学園女子大学

中野 笑花 東洋大学

箕輪 萌 大正大学

鷹宮 愛里 立教大学

1. 調査研究事業（県の研究機関による支援）

（令和4年度予算額：962千円）

1 概要

中山間地域において、地域住民活動の活性化に資することを目的に、集落営農を確立するための調査研究を県研究機関が実施する。

県農業技術研究センターでは「鳥獣害対策」、県茶業研究所では「お茶の生産技術」に関する研究を実施している。

2 令和4年度実施状況

(1) 鳥獣害対策

- ニホンザルの効果的被害対策の解明（GPS発信器のデータを活用した被害防止対策の検証）
- 被害防止対策の検証（侵入防止柵設置マニュアルの原案作成） など

(2) お茶の生産技術の確立

秩父地域の風土を活かした茶の製造法の確立と新たな需要の開拓をテーマに研究を実施。

- 土壌改良資材を利用した樹勢回復技術の実証
- 紅茶萎凋技術の確立
- 紅茶商品の新規需要の開拓 など

2. 研修事業（ふるさとリーダー研修）

（令和4年度予算額：300千円）

中山間地域の活性化の推進及び助言等を行う人材を育成する。



令和4年度

都市農山村交流実践研修会

「創業支援から始める地域活性化の取組」

～長崎県東彼杵町の事例から学ぶ～

12月15日 木

14:00～16:00

オンライン開催（Zoom使用）

参加費
無料

- ・開催日：令和4年12月15日
- ・開催方法：オンライン（Zoom）
- ・参加人数：12名
- ・テーマ：「創業支援から始める地域活性化の取組」～長崎県東彼杵町の事例から学ぶ～
- ・講師：一般社団法人 東彼杵ひとこともの公社 代表理事 森 一峻 氏
- ・内容：故郷長崎県東彼杵町の活性化を図るため、前職のセブン・イレブンジャパン勤務時代の経営戦略やノウハウ等を活用し、交流拠点の整備や創業支援等に取り組み、成功を収めた事例に基づき、地域活性化に向けた取組に必要な視点や手法について講義が行われた。

講師

一般社団法人 東彼杵ひとこともの公社
代表理事 森 一峻（もり かずたか）氏
～人口減の地域にわずか5年で約20店舗開業～



プロフィール

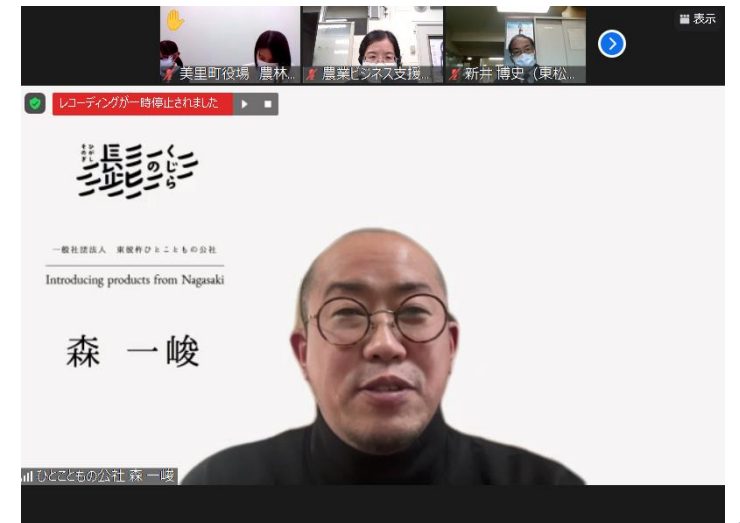
長崎県東彼杵町の出身。民間企業の社員として勤務後、地元に戻り、かつて飯漁で栄えていた東彼杵町に再び賑わいを取り戻したいと、2015年に地元農協の倉庫をリノベーションし、地域交流拠点として「Somriso」を設立。
東彼杵町での新事業設立や周辺の古民家をリノベーションした店舗づくり等をサポートし、（一社）東彼杵ひとこともの公社を設立、代表理事に就任。
現在は東彼杵町を中心に長崎県の地域コーディネーターとして地域住民と連携した地域・文化づくりに取り組む。

問合せ先

埼玉県農林部農業ビジネス支援課 農地活用担当
埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号
TEL 048(830)4093 FAX 048(830)4830



研修会の様子▶



3. 啓発推進事業（中山間地域における取組の広報）

（令和4年度予算額：1,434千円）

中山間地域の持つ多面的機能に関する理解促進のため、普及・啓発活動を実施。

イベントでの啓発資料配布・パネル展示

○ 中山間直接支払制度の取組事例と棚田のPRを同時に実施

(11月)

- ・移住住み替えイベント「おいで埼玉！」(東京ソラマチ)
- ・県庁オープンデー(埼玉県庁)
- ・横瀬町ウォーキングイベント(横瀬町)

(1月) ・あしがくぼ氷柱イベント(道の駅あしがくぼ)



ホームページでの情報発信

○ ポータルサイト「グリーン・ツーリズム埼玉」にて中山間地域の観光農園やイベントの情報を発信



広報誌の配布

○ 中山間地域の農村の魅力や活性化の取組を紹介する情報誌

『新・田舎人』を市町村等に配布

※年4回配布(9月、11月、1月、3月)

棚田基金事業の構成

1 保全ネットワーク推進事業

- ・保全活動への都市住民等の参加推進を図るために行う普及・啓発及び情報の収集・提供

2 保全活動推進事業

- ・保全活動を行おうとする住民組織の活動計画等の作成

3 保全活動支援事業

- ・住民組織が行う保全活動に要した経費を助成

1. 保全ネットワーク推進事業（棚田基金を活用した取組）

（令和4年度予算額：750千円）

棚田地域に関する情報を発信し、都市住民も交えた地域住民活動を推進。

＜令和4年度＞

西武鉄道や横瀬町観光協会と連携し、横瀬町でのハイキングイベントやあしがくぼ氷柱イベントにおいて、寺坂棚田で生産された棚田米や棚田めぐりガイドを配布し、都市住民に向け情報発信を行った。



11/20 横瀬町（札所6番ト雲寺）
（横瀬町ウォーキングイベント）



イベントには、多くの観光客が訪れ、「寺坂棚田にも寄りたいと思う。」「棚田で作ったお米がもらえるなんて嬉しい」などの声が聞かれた。



1/7横瀬町（道の駅あしがくぼ）
（あしがくぼ氷柱イベント）

中山間ふるさと事業【調査研究事業】 令和4年度事業評価及び令和5年度事業の計画

総合評価： A・・・順調 B・・・要改善 C・・・コロナ禍の影響等で事業内容を変更して実施したもの

令和4年度事業実績	県としての事業評価		事業評価を踏まえての 令和5年度の事業展開の考え方
<p>1 事業実施状況</p> <p>(1) コンサルタント等企業による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 2地域において、企業の支援により、地域活性化に向けた住民活動を実施。 <p>(2) ふるさと支援隊の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 11支援隊が地域住民との共同活動等を実施 オンライン活動報告会、交流会の開催 	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の行動制限緩和による現地活動の継続が見込まれる中、引き続き、感染防止対策に配慮しながら十分な活動ができるよう実施する。 活動の結果、対象地域の活性化にどの程度貢献できたかを客観的に把握・評価するための成果指標の設定について検討する。
	(1) コンサルタント等企業による支援	<p>2地域ともに、企業による地域活性化に向けた方策の検討や実行の支援が順調に進められており、今年度の取組の成果が見込まれる。</p> <p>(2) ふるさと支援隊</p> <p>一部でコロナ禍による活動の制限等も見受けられたものの、行動制限緩和により、現地活動が再開されており、概ね予定通りの活動が見込まれる。</p>	

令和5年度の計画

- ・コンサルタントによる支援 2地域(新規1地域、ときがわ町)
- ・ふるさと支援隊の活動 12支援隊(新規3支援隊、継続9支援隊)
- コンサルタントによる支援は、ときがわ町の地域住民活動支援(2年目)と、新規1地域を予定。
- ふるさと支援隊については、今年度の11支援隊のうち9支援隊の活動継続と、新規3支援隊の募集を予定。

中山間ふるさと事業【研修事業】

令和4年度事業評価及び令和5年度事業の計画

総合評価： A・・・順調 B・・・要改善 C・・・コロナ禍の影響等で事業内容を変更して実施したもの

令和4年度事業実績	県としての事業評価		事業評価を踏まえての 令和5年度の事業展開の考え方
<p>1 ふるさとリーダー研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和4年12月15日 ・参加人数 12名 ・内容 「創業支援から始める地域活性化の取組」～長崎県東彼杵町の事例から学ぶ～」のテーマの下、講師自身の地域活性化に向けた取組事例を踏まえ、事業構築に必要な視点や考え方、理解・協力を得るための活動方法等について、オンラインで講義を実施。 	総合評価	B	<p>地域活性化を推進するリーダーとなる人材育成に向け、研修対象者を明確化し、研修対象者の需要や時勢に応じたテーマを選定し、年2回開催する。</p>



令和5年度の計画

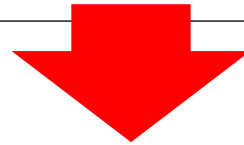
- ・ 第1回(7～8月頃): 中山間地域の農業振興に向け、地域農業の牽引約となる農業者や地域企業、商工会等を対象とし、農商工連携等による優良事例や経営戦略について学ぶ研修会を開催(予定)
- ・ 第2回(11～12月頃): 地域活性化に向けた取組に意欲のある地域住民や行政関係者を対象とし、地域づくりの取組や支援方法について学ぶ研修会を開催(予定)

中山間ふるさと事業【啓発推進事業】

令和4年度事業評価及び令和5年度事業の計画

総合評価： A…順調 B…要改善 C…コロナ禍の影響等で事業内容を変更して実施したもの

令和4年度事業実績	県としての事業評価		事業評価を踏まえての 令和5年度の事業展開の考え方
<p>1 啓発事業の実施</p> <p>(1) 中山間地域の自治体、鉄道会社と連携したイベントでのPRの実施。</p> <p>(2) 情報誌「新・田舎人」の配布。</p>	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種イベントの開催状況の情報などを早期に把握し、中山間地域に関する広報活動を企画する。 ・ ホームページ等のインターネット媒体を活用した中山間地域の資源や魅力のPRを継続する。
<p>イベント参加者や現地を訪れる人々に対し、中山間地域振興に向けた取組や農産物のPRを実施。</p>			



令和5年度の計画

- ・ 中山間地域振興に向けた取組、観光農園などの情報を、イベントやホームページでPRする
- ・ 情報誌の配布を行う(年4回予定)

中山間ふるさと事業【棚田基金】

令和4年度事業評価及び令和5年度事業の計画

総合評価： A…順調 B…要改善 C…コロナ禍の影響等で事業内容を変更して実施したもの

令和4年度事業実績	県としての事業評価		事業評価を踏まえての 令和5年度の事業展開の考え方
<p>1 保全ネットワーク推進事業 棚田所在自治体(横瀬町)、鉄道会社と連携したイベントでのPRの実施。</p> <p>【事業対象箇所】 ・寺坂棚田(横瀬町)</p>	総合評価	A	<p>・横瀬町及び寺坂地区の活動組織と協議し、効果的なPR方法及び住民組織が行う保全活動に寄与する取組を検討する。</p>
<p>鉄道会社のイベントや横瀬町観光協会主催のイベントに参加した都市住民に対し、啓発資料や棚田米配布を通じて寺坂棚田のPRを実施。</p>			



令和5年度の計画

- ・イベントにおける啓発資料、棚田米配布による横瀬町寺坂棚田のPR